

令和 4 年度 第 2 回八戸市学校給食審議会 資料

1. 令和 4 年度 八戸市学校給食事業の概要について

(1) 給食の目的

学校給食は、単なる栄養補給のための食事という意味にとどまらず、教育の一環として、学校給食法に基づき実施しています。

学校給食により、栄養のバランスのとれた食事を子どもたちに提供し、日々の健康増進、体力の向上を図り、さらには、学校給食を生きた教材として活用することにより、食文化について関心を深め、食事の自己管理能力を養うとともに、感謝の気持ちを培うなど、食育の推進を図ります。

(2) 給食の内容

八戸市で実施している給食の内容は、米飯又はパン・麺及び牛乳、おかずの完全給食です。

米飯	週 3.5 回
パン	週 0.5 回 (隔週)
麺	週 1 回



○ 食材について

米 飯	八戸産米「まっしぐら」を 100% 使用 (平成 14 年度から)
牛 乳	県産乳 100% 使用 1 本 200 ml
パ ン	県産小麦「ゆきちから」を 100% 使用 コッペパン、黒コッペパン、米粉パンなど
麺	原料小麦の 3 割を県産小麦「ネバリゴシ」使用 中華そば、うどん、きしめん、そうめんなど
生鮮肉類	牛肉、豚肉、卵は県産指定、鶏肉は国産指定
生鮮野菜 果物類	市内産、県産を優先して納品するよう業者へ要請
加工品	一部製品は、市内産・県産を指定

○ 学校給食用物資の調達

年間契約	米飯、パン、牛乳	公益財団法人青森県学校給食会を通じて調達
半期契約	味噌、醤油、麺類、調味料等	登録業者による入札で決定 ※前期：4 月から 9 月分・・・3 月に入札 後期：10 月から 3 月分・・・8 月に入札
毎月契約	一般物資、野菜類、肉類、大豆製品類	登録業者による入札で決定

(3) 食物アレルギー対応食の提供

食物アレルギー対応食は、専用調理室を設けた西地区給食センターにおいて、西地区給食センターの献立を元にした専用の献立を作成し、調理・配送しています。

除去対象食品は、対象者が多く給食での使用頻度が高い、卵・乳としています。

令和4年度アレルギー対応食提供人数（令和5年1月現在）		
小学校	19校	
中学校	3校	合計 42人



※「そば・落花生・かに・いくら・あわび・くるみ
まつたけ・キウイフルーツ」は、通常食でも使用していません。

(4) 非常食（ホッとするカレー）の備蓄

給食センターで不測の事態が発生し、急遽、給食提供を停止しなければならない状況となった場合に備えて、代替給食として非常食（ホッとするカレー）を備蓄しています。

なお、不測の事態が発生しなかった場合は、年1回、3月11日（東日本大震災発生日）の前後に給食センターごとに実施日を決定し、防災教育の一環として供給します。



(5) 給食提供人数

令和4年5月1日現在

小・中学校別	令和3年度	令和4年度	増減
小学校	11,553人	11,361人	△192人
中学校	6,096人	5,970人	△126人
センター職員	208人	205人	△3人
合計	17,857人	17,536人	△321人

担当センター別	令和3年度	令和4年度	増減
北センター	4,280人	4,210人	△70人
東センター	3,997人	3,939人	△58人
西センター	9,580人	9,387人	△193人
合計	17,857人	17,536人	△321人



2. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症及びコロナ禍における原油価格・物価高騰等対策として、次の3事業を実施。財源に国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用。

No.	事業名	内容	事業費 (千円)
①	学校給食用食材費補填事業 (学校給食食材費等高騰対策支援事業)	学校給食の食材費の高騰分を補填し、学校給食の水準確保と保護者負担の抑制を図る。 ・補填：7月以降の学校給食費の1割相当額 170,000千円(R4～R5年度分) 食材高騰が続いており、R5年度に向けても切れ目ない支援の必要があることから、次年度に1億円を繰越すもの。	170,000 <賄材料費>
②	学校給食臨時休校等補填事業 (学校給食食材費等高騰対策支援事業)	新型コロナウイルス感染症による臨時休校等の欠食分の学校給食費を補填し、保護者負担の抑制を図る。 ・補填：欠食 約67,000食相当額	18,378 <給食費負担金>
③	学校給食用燃料等支援事業 (学校給食食材費等高騰対策支援事業)	給食調理用の燃料費・電気料金の高騰分を補填する。 ・補填：燃料費 27,660千円 電気料金 6,375千円	34,035 <燃料費> <光熱水費>
合計			222,413

☆R5年3月議会で補正要求する内容含む。

[参考]

○給食物資の値上がりに関する数字

- ・給食物資(主食/牛乳/野菜(生鮮)を除く) R3R4 同月調達金額の対前年比 平均値(7月～3月)
・・・同じ献立を R3 と R4 単価で実施した場合の比較 108.2%

- ・消費者物価指数(基準年 2020 年)

2021年7月 99.6 →2022年11月 107.8

→消費者物価指数とは、物価の平均的な変動を測定するもので、基準年を 100 としてこれと同等のものを購入するのに必要な費用の変動を指数値で表したものの。

○重油 A、天然ガス、電気料金の値上がり状況(R3 と R4/7 月単価等の比較)

	R3/7 月	→	R4/7 月
重油	88.44 円/ℓ	→	107.25 円/ℓ
天然ガス	76.34 円/ℓ	→	122.34 円/ℓ
電気料金	3,475,075 円	→	5,206,369 円(全施設の月額)

3. 令和4年度の実施事業等について（報告）

（1）学校給食主任研修会（オンライン開催）

趣旨	学校給食の運営を円滑に行うため、学校、給食センター、教委の連携を図り、また各学校において給食運営を担う給食主任の意識向上を図る。
開催日	令和4年5月13日(金)
会場	総合教育センターから配信
出席者	小中学校給食主任 59名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ①全体会 <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における安全・衛生管理について ・学校給食費に関する事務について 等 ②分科会(所管センターごと) <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食事務について ・その他連絡事項 ・食に関する指導について 等

（2）手づくり弁当の日

趣旨	「食」の大切さを見直し、親子の触れ合いや家族の絆を深め、家庭における教育力の向上を図る。
実施方法	市立小中学校において年2回一斉に手作り弁当を持参する日を設ける。
実績	

	第1回	第2回
実施日	6月6日(月)	10月3日(月)
実施状況	66/66校	65/66校 ※1中学校が日程調整つかず実施せず
食育取組み実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ① 食事の重要性や楽しさなどを理解するような取組み 34件 ② 栄養のバランスなど、健康上望ましい食事の摂り方や作り方を理解するような取組み 34件 ③ 買い物などの場面を通して、食品を選択する能力を身につけられるような取組み 27件 ④ 家族や食物の生産等にかかわる人へ感謝する心を育むような取組み 52件 ⑤ 食事のマナーを身につけ、好ましい人間関係を築こうとするような取組み 32件 ⑥ 地域の産物や食文化を理解し、尊重するような取組み 12件 	<ul style="list-style-type: none"> ① 食事の重要性や楽しさなどを理解するような取組み 32件 ② 栄養のバランスなど、健康上望ましい食事の摂り方や作り方を理解するような取組み 29件 ③ 買い物などの場面を通して、食品を選択する能力を身につけられるような取組み 24件 ④ 家族や食物の生産等にかかわる人へ感謝する心を育むような取組み 49件 ⑤ 食事のマナーを身につけ、好ましい人間関係を築こうとするような取組み 28件 ⑥ 地域の産物や食文化を理解し、尊重するような取組み 11件

(3) 学校給食献立検討会議

趣旨 学校給食の献立作成について、栄養管理に配慮するとともに、安全・安心で魅力ある給食となるよう、給食主任及び保護者代表で構成される献立検討会議を開催し、その意見を反映させる。

内容 年3回、ブロック別で開催。市より献立原案を提示し意見をもらう。

	西ブロック (西センター提供校)	北・東ブロック (北・東センター提供校)	検討内容
第1回	6月23日(木)	6月24日(金)	R4年9～12月分献立
第2回	10月11日(火)	10月13日(木)	R5年1～3月分献立
第3回	1月24日(火) ☆悪天候のため書面開催	1月26日(木)	R5年4～8月分献立

会場 福祉公民館
献立検討委員 給食主任(教職員) 12名(西:6名、北・東ブロック:6名)
保護者代表 6名(西:3名、北・東ブロック:3名)

(4) 学校給食・食育活動見学会 (委託事業)

事業趣旨 食育において学校給食が果たす役割を再認識するとともに、食に関する情報交換を通じて、健康教育の充実を図る。

主催 八戸市学校給食会(会長 乗松朋博(南郷小校長))

開催日 令和4年11月28日(月)

会場校 南郷小学校

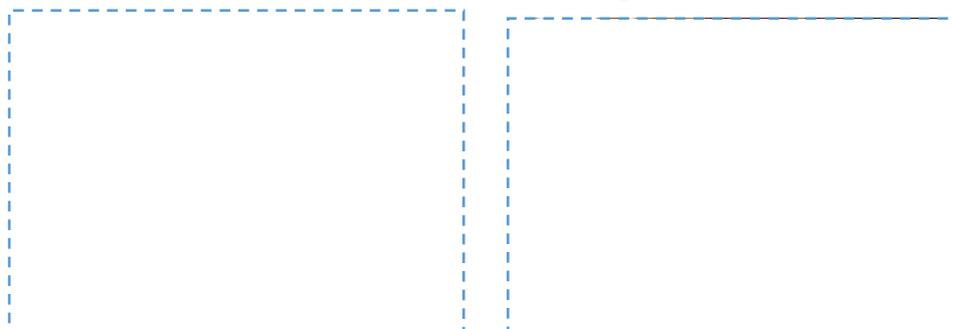
主 題 『食』に関する知識を高め、自らの生活に生かすことのできる児童の育成

内 容

・授業参観 1年1組 題材名「すききらいなく たべよう」



・実践発表 4年1組 題材名「南郷のそばづくり」
6年1組 題材名「ブルーベリー発信隊」



・講話 講師 西地区給食センター 栄養教諭 宮内 郁江
演題 「地産地消 ～地域の食材を活用した献立作成と食育指導～」

《参考：令和4年度 学校給食特別会計予算》

令和5年1月末現在

区分	予算科目	予算現計 (円)	内 訳	
			主なもの	金額 (円)
歳入	給食費負担金	916,487,000	保護者等負担金	916,487,000
	総務使用料	15,000	自販機設置使用料	-
	一般会計繰入金	1,172,250,000		-
	前年度繰越金	14,563,000		-
	雑入	110,000	使用済食用油売払料 など	-
	合計	2,103,425,000		
歳出	給食センター管理費	959,622,000	人件費	54,059,000
			需用費(光熱水費、修繕料 等)	185,217,000
			施設管理等委託料	672,476,000
	給食費	991,508,000	賄材料購入費	991,508,000
	公債費	152,295,000	西センター整備に係る償還金等	-
	合計	2,103,425,000		